

令和 6 年 3 月市議会定例会

上下水道局 議案説明資料 (補正予算分)

目 次

【予算案件】

- 1 人件費の補正について（水道事業会計・公共下水道事業会計）… 1 頁
- 2 富山公共下水道災害復旧事業について（公共下水道事業会計）… 2 頁

1 人件費の補正について(水道事業会計・公共下水道事業会計)

(1) 水道事業会計

ア 人件費(会計年度任用職員以外の職員)

(単位:千円)

款	項	目	現 予 算 計 額	補 正 額	内 訳			補 正 後 額
					給 料	手 当 等	法 福 利 定 費	
1 水道事業費	1 営業費用	原水及び浄水費	53,241	302	△ 66	561	△ 193	53,543
		配水及び給水費	179,061	9,538	370	8,446	722	188,599
		受託工事費	8,385	△ 1,368	△ 1,368	51	△ 51	7,017
		業務費	141,874	△ 396	△ 912	352	164	141,478
		総係費	166,205	△ 498	△ 1,165	597	70	165,707
		小 計	548,766	7,578	△ 3,141	10,007	712	556,344
1 資的 本支 出	1 建設良 費	(※) 小 計	181,326	0				181,326
合 計			730,092	7,578	△ 3,141	10,007	712	737,670

(2) 公共下水道事業会計

ア 人件費(会計年度任用職員以外の職員)

(単位:千円)

款	項	目	現 予 算 計 額	補 正 額	内 訳			補 正 後 額
					給 料	手 当 等	法 福 利 定 費	
1 下水道事業費	1 営業費用	管渠費	47,275	1,597	△ 17	742	872	48,872
		ポンプ場費	10,609	641	166	449	26	11,250
		浜黒崎浄化センター費	57,257	△ 199	245	△ 447	3	57,058
		水橋浄化センター費	10,851	96	28	73	△ 5	10,947
		水洗化促進費	18,879	512	56	464	△ 8	19,391
		排水設備指導費	19,878	2,111	914	732	465	21,989
		業務費	100,910	△ 1,946	△ 1,846	△ 718	618	98,964
		総係費	105,831	1,351	△ 213	714	850	107,182
		地域し尿処理施設費	9,689	△ 374	48	△ 395	△ 27	9,315
		農業集落排水事業費	36,556	704	20	570	114	37,260
		小 計	417,735	4,493	△ 599	2,184	2,908	422,228
1 資的 本支 出	1 建設良 費	(※) 小 計	155,011	0				155,011
合 計			572,746	4,493	△ 599	2,184	2,908	577,239

(※) 水道事業会計及び公共下水道事業会計の資本的支出は補正を行わないため、科目を省略

(参考) 職員数調

会計名	職員数			
		現計	補正	増減
水道事業 会 計	正 規 職 員	95	92	△ 3
	再任用短時間	1	1	0
	計	96	93	△ 3
公共下水道 事業会計	正 規 職 員	70	69	△ 1
	再任用短時間	1	1	0
	計	71	70	△ 1
合 計	正 規 職 員	165	161	△ 4
	再任用短時間	2	2	0
	計	167	163	△ 4

※特別職を含む

2 富山公共下水道災害復旧事業について（公共下水道事業会計）

1. 補正要求額

下水道施設の災害復旧に伴う実施設計費用（建設改良費） 77,200千円

2. 復旧に向けての対応状況

上下水道局では、下水道管（汚水・雨水）の被災状況を把握するため、道路施設で液状化による被害が確認されているエリア内の下水道管を対象に、1月5日よりマンホールを開けて内部の状況を確認する目視調査を行い、その結果、異常が確認された施設において、カメラなどによる詳細調査を進めている。

詳細調査の結果を踏まえ、3月に行われる災害査定を受け、その後、実施設計、復旧工事を進めていく。なお、復旧工事に必要となる費用については、実施設計を踏まえ、来年度に改めて予算要求する予定である。

3. 施設ごとの詳細

●下水道管（汚水）

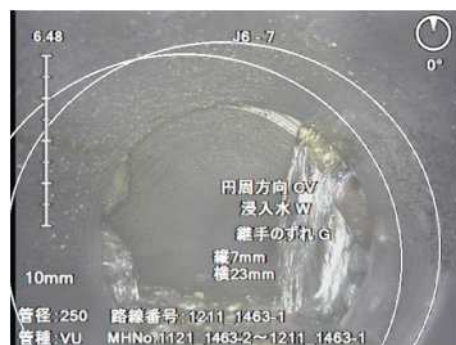
富居処理分区外管渠

要求額30,000千円

マンホール内部に土砂等の堆積が確認された施設を対象に詳細調査を実施した結果、液状化に伴う管の浮上や蛇行などによる機能低下が確認された。詳細調査は概ね完了している。



マンホール内堆積

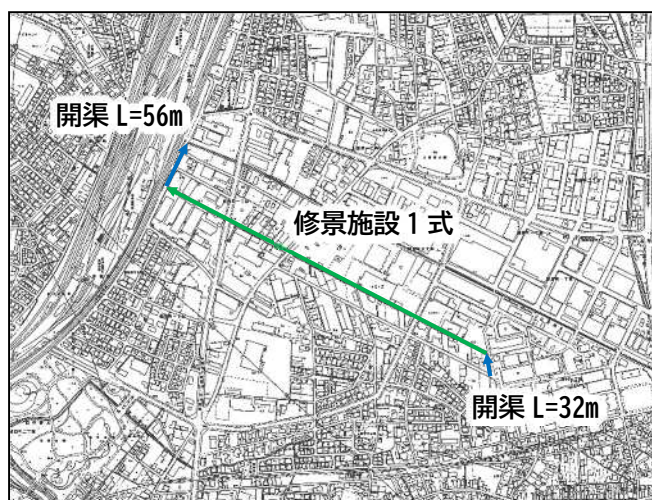


管のずれ、多量の侵入水

①ガメ川雨水幹線及び修景施設

要求額 11,200千円、21,000千円

ガメ川雨水幹線は、開渠構造の区間と暗渠構造の区間があり、暗渠構造の区間は上部空間を活用した修景施設が整備されている。今回の被害は、開渠での壁の傾斜や修景施設での地割れなどが確認されている。



水路壁の傾斜

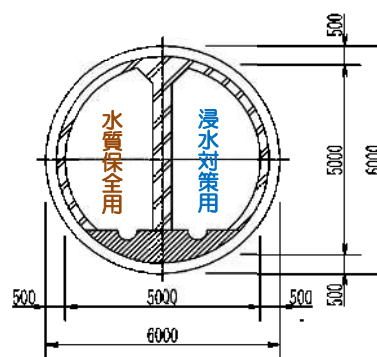
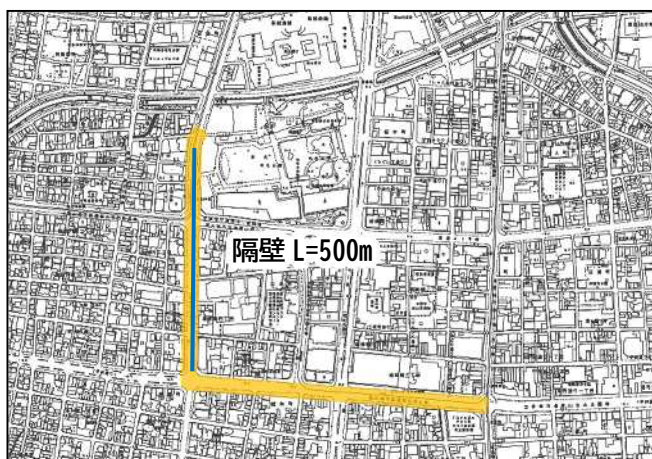


修景施設の地割れ

②松川貯留施設

要求額 15,000千円

松川貯留施設の内部構造は、管の中心に隔壁があり、左右の2槽構造となっている。各層は異なる目的・機能（公共用水域の水質保全及び浸水対策）を有しており、貯留した雨水は相互に移動しない構造となっているが、隔壁に水漏れなどの異常が発生している可能性があることが明らかとなっている。



断面図